

一般国道13号

上山バイパスが開通して

(平成22年12月12日開通)

- ① 現道の交通量の約9割がバイパスへ転換
- ② 朝の通勤時間帯の所要時間が2分短縮



開通後の上山バイパス



整備前

▼今回開通する区間の現道は、交通事故や冬期の運搬排雪など交通を阻害する要因が多く存在

南陽市川樋地区での事故の様子



▼朝夕のラッシュ時を中心に交通量が集中。並行路線が無いので、生活空間に通過交通の大型車なども混入。沿道環境の改善、歩行者の安全性向上が必要な状況。

これまでの国道13号の混雑状況



これまでの冬期の歩行状況



○国道13号の交通量の約9割が上山BPに転換

国道13号: 24,400台/日

国道13号: 1,400台/日
上山BP: 23,300台/日

○朝ピーク時の所要時間が短縮、走行速度が向上

開通前: 10分、44km/h

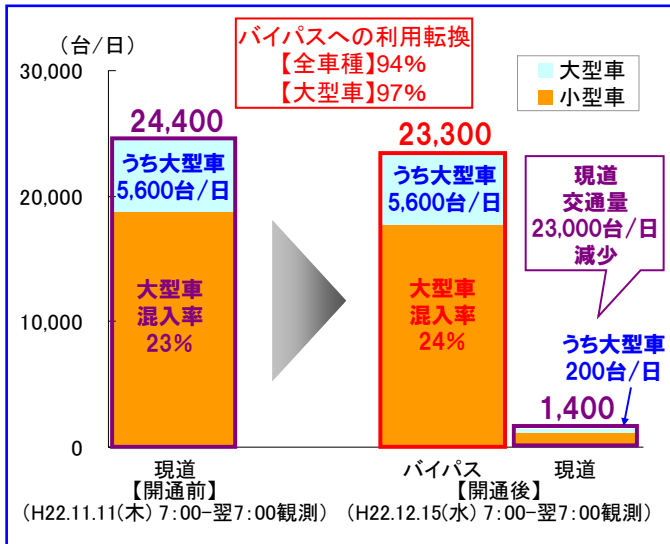
開通後: 8分、53km/h

- ・工事期間: 昭和54年～
- ・延長: 全長17.2km / 今回開通5.5km
- ・今回開通区間は、平成12年～
- ・幅員: 14.5m (2車線区間)
- ・総事業費: 約210億円 (暫定2車線) ※完成4車線事業費: 約270億円

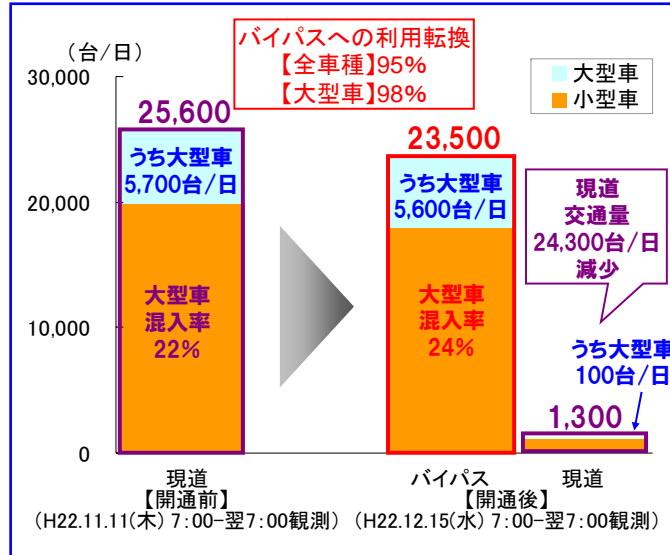
①国道13号現道の交通量の約9割が転換

○バイパス開通により現道からバイパスへ利用転換し、現道の交通量が減少

▼バイパス・現道の交通量の変化 (①中川地区)



▼バイパス・現道の交通量の変化 (②中山地区)



②朝の通勤時間帯の所要時間が2分短縮

○所要時間が短縮、旅行速度が向上

▼川樋交差点～川口交差点の所要時間と平均速度

